



ファームウェアバージョン:		R2.30.B012
ハードウェアバージョン:	DGS-3630-28SC	A1/A2
	DGS-3630-28TC	A1/A2/A3
	DGS-3630-52TC	A1/A2
	DGS-3630-28PC	A2
	DGS-3630-52PC	A2
発行日:		2025/9/25

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	3
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	3
Web GUI を使用したアップグレード	5
追加機能：	8
MIB の変更点：	8
コマンドラインインタフェースの変更点：	8
修正した問題点：	9
既知の問題：	11

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R2.30.B012	2025/9/25	DGS-3630-28SC	A1/A2
		DGS-3630-28TC	A1/A2/A3
		DGS-3630-52TC	A1/A2
		DGS-3630-28PC	A2
		DGS-3630-52PC	A2

アップグレード時の注意事項：ダウングレードに関する制限事項

- A1を含む全てのハードウェアバージョンの製品について、R2.00.xxx以上のファームウェアを使用しているもしくは一度R2.00.xxx以上のファームウェアにアップグレードしたデバイスを、R1.00.060を含むすべてのR1.00.xxxバージョンへダウングレードしてお使いになることはできません。

また、Bootloaderバージョンが2.00.002以上のものをお使いの場合にも、すべてのR1.00.xxxにダウングレードすることはできませんので十分にご注意ください。（お使いのファームウェアバージョン、Bootloaderバージョンは、「show version」コマンドでご確認いただけます）

必ず2.10.B022以上のファームウェアのままお使いください。ダウングレードした場合、正常に起動・動作することができなくなります。

アップグレード時の制限事項

- R2.10.022またはそれ以前のファームウェアバージョンからアップグレードする場合の制限事項
 - パスワードの暗号化を有効にし、SNMPのコミュニティ、グループ、トラップ受信ホストの追加を設定している場合、アップグレード後にそれらを再度手動で追加する必要があります。

コンフィグレーション互換性に関する制限事項

- R1.00.B060とR2.10.022以降のファームウェアバージョン間のコンフィグ互換性には制限があります。
 - R1.00.B060からR2.10.022以降のバージョンへの設定の引継ぎは可能（アップグレード及びリストア）
 - R2.10.022以降のバージョンからR1.00.B060へ設定引継ぎは不可（リストア）

※R2.10.022以降のバージョンにアップグレードしたデバイスを、R1.00.060にダウングレードすることはできません。

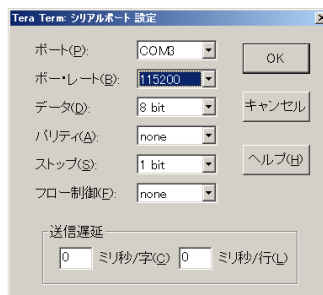
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)使用する、もしくは Web GUI から行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キー 1 回を押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
enable	特権レベルに移行します。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE-URL flash: PATH-FILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

- (1) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch>enable
```

```
Switch#copy tftp: //10.90.90.100/DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had flash:
DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had
```

Address of remote host [10.90.90.100]?

```
Source filename [DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had]?
Destination filename DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had]?
Accessing tftp://10.90.90.100/DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had...
Transmission start...
Transmission finished, file length 15312708 bytes.
Please wait, programming flash..... Done.
```

(2) ブートイメージを指定します。

```
Switch#
Switch#configure terminal
Switch(config)#boot image DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had
Switch(config)#exit
Switch#show boot
```

Unit 1

```
Boot image: /c:/ boot image DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had
Boot config: /c:/config.cfg
```

(3) スイッチを再起動します。

```
Switch#reboot
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(4) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

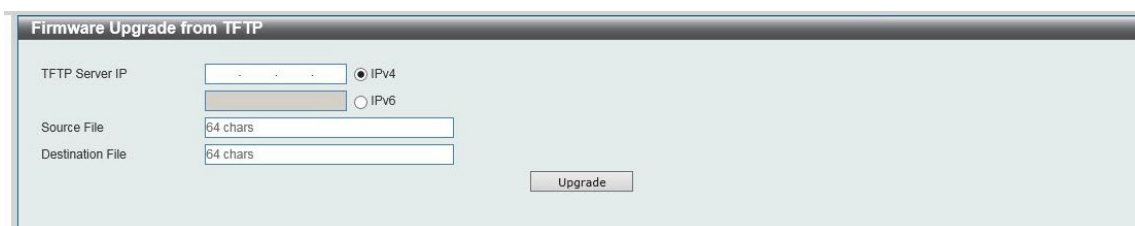
```
Switch>show version
System MAC Address: xx-xx-xx-xx-xx-xx
```

Unit ID	Module Name	Versions
1	DGS-3630-28SC	H/W:A1 Bootloader:1.00.007 Runtime: 2.30.B012

Switch>

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。
「User Name」(管理者のユーザ名)と「Password」(パスワード)は、初期状態では登録されていません。「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Upgrade」ボタンをクリックします。

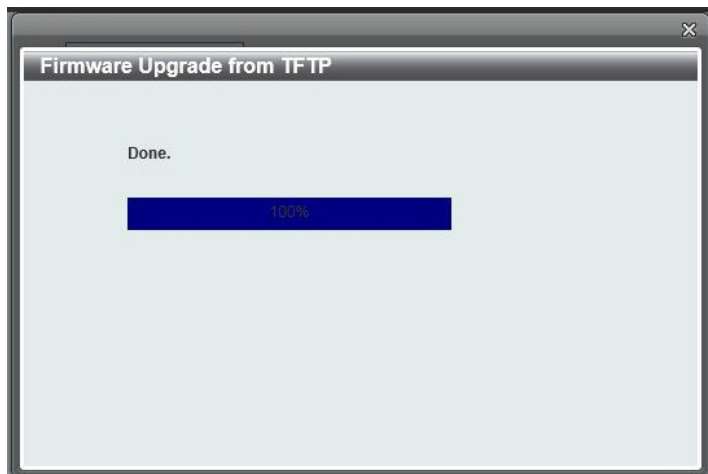


The screenshot shows a web form titled "Firmware Upgrade from TFTP". It contains the following elements:

- TFTP Server IP:** A text input field followed by radio buttons for "IPv4" (selected) and "IPv6".
- Source File:** A text input field with a "64 chars" label.
- Destination File:** A text input field with a "64 chars" label.
- Upgrade:** A button located at the bottom right of the form.

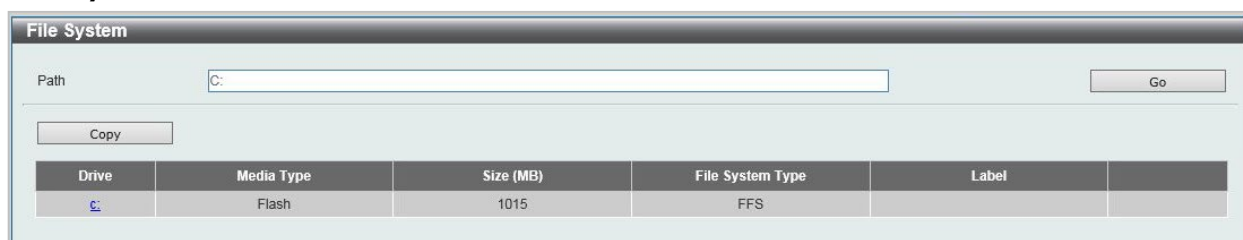
- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source File : TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します。
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例 : c:/DGS3630_Ax_FW2_30_B012.had)

- ステータス画面が表示されます。「Done.」(完了)ステータスを確認後、本画面を閉じます。

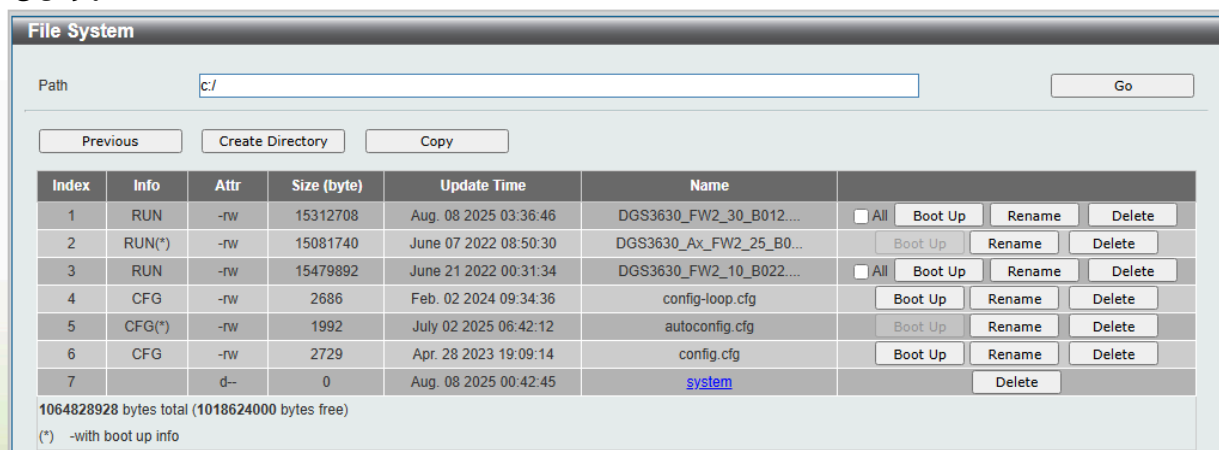


注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- 次のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Management > File System** の順にクリックします。



- Drive 欄の [C:](#) をクリックします。
- 該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

10. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。
11. スイッチのリブートを行います。リブートを行うには、**Tools > Reboot System** をクリックします。



12. 「Reboot」ボタンをクリック後、「Are you want to reboot?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

13. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.30.B012	<ol style="list-style-type: none"> DGS-3630-28SC/28TC/52TC/28PC/52PC の H/W バージョン: A3 をサポート致しました。 DPS-700/B1 をサポート致しました。 セキュリティ認証設定について、ポートチャネルに対する適用に対応致しました。 SSL 機能で以下の暗号化アルゴリズムをサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 VPLS 設定の PW タイプで Tagged Raw モードをサポート致しました。 VPLS のスタティックラベル設定をサポート致しました。 OSPFv2 仮想リンク設定において HMAC-SHA256 認証をサポート致しました。 VRF において BFD をサポート致しました。 SSH でアルゴリズムの設定をサポート致しました。 OpenSSL を更新致しました。 DGS-712/G1 をサポート致しました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	変更点
R2.30.B012	DLINKSW-SSH-MIB	SSH でアルゴリズムの設定をサポート致しました。
	DLINKSW-VPLS-MIB	VPLS のスタティックラベル設定をサポート致しました。
	DLINKSW-VRRP-EXT-MIB	不具合を修正致しました。
	DLINKSW-SSL-MIB	AEAD 暗号化アルゴリズムをサポート致しました。 ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384
	DLINKSW-OSPFV2-MIB	OSPFv2 仮想リンク設定において HMAC-SHA256 認証をサポート致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.30.B012	<ol style="list-style-type: none"> セキュリティ認証設定について、ポートチャネルに対する適用に対応致しました。 ssl-service-policy コマンドで以下の暗号化アルゴリズム設定をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 pw-type コマンドで tagged-raw 設定をサポート致しました。 VPLS のスタティックラベル設定をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> mpls static label local VALUE remote VALUE no mpls static label

	<ol style="list-style-type: none"> 5. area virtual-link コマンドで HMAC-SHA256 認証の設定をサポート致しました。 6. VRF において BFD をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ router bgp AS-NUMBER コマンド、address-family ipv4 vrf VRF-NAME コマンドにおいて、以下のコマンドに対応致しました。 <ul style="list-style-type: none"> - neighbor { IP-ADDRESS IPV6-ADDRESS PEER-GROUP-NAME } fall-over bfd - no neighbor { IP-ADDRESS IPV6-ADDRESS PEER-GROUP-NAME } fall-over bfd ・ router rip コマンド、address-family ipv4 vrf VRF-NAME コマンドにおいて、以下のコマンドに対応致しました。 <ul style="list-style-type: none"> - bfd all-interface - no bfd all-interface 7. SSH でアルゴリズムの設定をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ip ssh server algorithm encryption ・ no ip ssh server algorithm encryption ・ ip ssh server algorithm mac ・ no ip ssh server algorithm mac ・ ip ssh server algorithm hostkey ・ no ip ssh server algorithm hostkey ・ ip ssh server algorithm key-exchange ・ no ip ssh server algorithm key-exchange
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.30.B012	<ol style="list-style-type: none"> 1. CVE-2004-0230 の脆弱性に対応致しました。(TCP enhance-RFC5961) 2. セキュリティスキャンを実施した際に、システムが予期せず再起動する場合がある問題を修正致しました。 3. VRRP 機能において、プライマリスイッチのゲートウェイ IP が到達不可になった場合にフェイルオーバーが動作しない場合がある問題を修正致しました。 4. ストームコントロールの設定値が WebUI と CLI 表示で異なる問題を修正致しました。 5. IGMPv3 クライアントにより INCLUDE モード/送信元アドレスなしで IGMP パケットが送信された際に、IGMP スヌーピンググループテーブルで当該エントリが削除されずに残る問題を修正致しました。 6. PTP 使用時に PTP 管理メッセージが転送されない問題を修正致しました。 7. MPLS LSP フラッピングの問題を修正致しました。 8. DHCP サーバと DHCP スヌーピングを同時に有効化した場合、適切に機能しない問題を修正致しました。 9. banner login 設定を行いシステムを再起動後、CLI ログイン時のメッセージの各行に不要な空白行が差し込まれる問題を修正致しました。 10. VLAN フィルター適用時に LAG がダウンする問題を修正致しました。 11. SNTP での時刻同期処理を強化致しました。 12. 連続した SNMP コマンドの実行によりシステムの再起動が発生する場合がある問題を修正致しました。

13. NTP サーバと同期後、サーバからの応答が無い状態においても"Synchronized"表示のままとなる問題を修正致しました。
14. スタック構成時、バックアップマスタのインタフェースが"no log link-status"となる問題を修正致しました。
15. システム再起動後に SNMP の Community 設定が変更されてしまう問題を修正致しました。
16. SNMP 経由でループバックインタフェースの情報が取得できない場合がある問題を修正致しました。
17. システム再起動後に"mac-address-table static"が無効になる問題を修正致しました。
18. VLAN インタフェースの詳細情報 (VLAN Interface Information 画面) が適切に表示されない問題を修正致しました。
19. リンクアグリゲーションにおいて、スタティックモードのポートチャネルの帯域の値が 0 と表示される問題を修正致しました。
20. OpenFlow 機能において、コントローラと接続後にパケットが適切に転送されない問題を修正致しました。
21. SNMP 経由で IP MTU の取得/設定ができない問題を修正致しました。
22. VLAN インタフェースがシャットダウン状態であっても DHCP パケットが転送される問題を修正致しました。
23. DGS-1100V2 スイッチとの接続時、ネゴシエーションに失敗する問題を修正致しました。
24. 物理スタック構成にて再起動を実施後、Unit2 に接続しているクライアントからの Ping が失敗する問題を修正致しました。
25. SNMP 経由でリンク時のポートチャネルの帯域の値が取得できない問題を修正致しました。
26. DHCP サーバ機能において、送信 DHCP OFFER パケット内に Option125 が含まれない問題を修正致しました。
27. "show running-config interface"コマンドにおいて、一部の設定が表示されない問題を修正致しました。
28. TTL=1 のパケットにより CPU が 100%になる場合がある問題を修正致しました。
29. スタック構成でご利用の場合に、スタックマスタの交代に伴い、OSPF の状態が Full にならない問題を修正致しました。
30. Mgmt 0 に IPv4 アドレスが設定されていない場合、システムログ機能および SNMP トラップ機能について、送信元インタフェースを指定しているにも関わらず、経路の出口の IPv4 アドレスが使用される問題を修正致しました。
31. Time Range を PD Alive と併用できてしまう問題を修正致しました。
32. ERPS Version 1、2 が混在する環境において、ERPS Version 2 に設定し互換性がない場合でも、セカンダリリングが Idle となる問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.30.B012	特になし

※R2.25.B025 以前のリリースノート記載の制限事項については、マニュアルに記載を移動しています。

Copyright 2025 D-Link Japan K.K.